

更生支援NPOなど受賞

名古屋キワニススクラブの社会公益賞

名古屋市の社会奉仕団体「名古屋キワニススクラブ」は、いずれもNPO法人のトルシーダ(豊田市)、再非行防止サポートセンター愛知(名古屋守山区)に社会公益賞を贈った。トルシーダは、外国にルーツがある保見団地の住民らに日本語を教えながら、居場所づくりをしてきた。再非行防止サポートセンター愛知は、非行をした青少年が立ち直るための生活支援や面談に取り組んでいた。

授賞式は18日に名古屋・名駅のホテルで開かれ、会員ら73人が参加。トルシーダの代表理事の伊東浄江さんは「かつては草の根以下の活動とも言われた。活動を認められ、温かい価値観が伝わった」と喜びを語った。

「キワニス文庫」と称する本の寄贈事業の贈呈式もあり、名古屋掖済会病院小児科(同市)、市西部地域療育センター(同市)、公立西知多総合病院小児科(東海市)に計約420冊(約70万5千円相当)を贈った。(田上亜侑奈)

第56回 キワニス社会公益賞
第51回 キワニス文庫 贈呈式



社会公益賞、キワニス文庫を
贈呈された5団体の代表ら
名古屋・名駅のホテルで

社会公益賞と絵本 贈呈 名古屋キワニスクラブ



社会公益賞とキワニス文庫の贈呈を
受けた団体の代表ら（名古屋市中

子どものための奉仕活動を展開する「名古屋キワニスクラブ」は18日、社会貢献を続ける団体を表彰する「社会公益賞」と、病院の小児科などに絵本を贈る「キワニス文庫」の贈呈式を名古屋市内で開いた。

社会公益賞には、外国にルーツがある子どもたちの居場所作りや進学支援などに取り組むNPO法人「トルシーダ」（豊田市）、非行少年らの立ち直りを支える同「再非行防止サポートセンター愛知」（名古屋市中山区）が選ばれ、表彰状と50万円の目録が贈られた。

名古屋掖済会病院（同市中川区）と西知多総合病院

（東海市）の両小児科、名古屋西部地域療育センター（中川区）には、各23万5000円相当の絵本など計約420冊の目録を贈った。

贈呈式で、同クラブの築山宗彦会長は「子どもたちを取り巻く環境が複雑化し、様々な問題が顕著になっている。奉仕活動を充実していかなければならない」とあいさつ。トルシーダの伊東浄江代表理事は「受賞を励みに、今後も誰もが学べる社会を目指して活動する」と話し、再非行防止サポートセンター愛知の高坂朝人理事長は「まじめに再非行を減らす活動が続けていく大きな力になる」と述べた。

トルシーダなど2団体表彰

名古屋キワニスクラブ、社会公益賞

名古屋キワニスクラブ(築山宗彦会長)は7月18日、名古屋市中村区の名古屋マリOTTアソシアホテルで、「第56回社会公益賞並びに第51回キワニス文庫贈呈式」を開いた。社会公益賞は青少年の健全育成に貢献する愛知県内の2団体を表彰。また、キワニス文庫として、小児医療などに取り組む3施設に、絵本・児童書合計約420冊を寄贈した。

(吉川英司)

社会公益賞は同クラブ会員による推薦、審査の上で、青少年の健全育成に貢献する団体を表彰する取り組み。

今回は、特定非営利活動法人トルシーダ(本部岡崎市)と特定非営利活動法人再行防止サポートセンター1愛知(本部名古屋市中村区)の2団体を表彰。副賞として各50万円を贈呈した。

青少年の健全育成を評価

3施設に児童書の寄贈も

トルシーダは、就学義務がない外国籍の子どもへの日本語教育と、地域社会との融和、国際人材への育成などに取り組んでいる。再行防止サポートセンター1愛知は、非行少年の再犯防止・社会復帰支援を行っている。

トルシーダは、ますます厳しくなっている「外国人の子どもの日本語教育」と話し、青少年支援や小児医療に積極的に取り組む各団体を称賛した。

トルシーダの伊東浄江代表理事は「外国籍の子どもが多い豊田市の保見団地などで、日本語教育と居場所づくりに取り組んでいる。施設に贈られた。

なおキワ

した。

築山会長は2度入り、保護司のサポートで立ち直った経験から「青少年を取り巻く環境は一人でも多く被害者を減したい」と話した。



受賞2団体、キワニス文庫贈呈先3施設との記念写真



キワニス文庫の贈呈書籍の一部

世界の子どもたちを支援するキワニスからの表彰は励みだ」と感謝した。

また、再行サポートセンター1愛知の高坂朝人理事長は「少年院での面会活動、少年院退院後の在宅サポート、親元に帰れない少年の居住施設運営、保護者支援も行っている。自分自身が少年院に